

企業と連携したキャリア教育の推進

熊本県立荒尾支援学校

1 はじめに

本校は「キャリア教育の視点を踏まえた学校システムの再考」という研究テーマのもと、平成23年度から一貫してキャリア教育の推進に取り組み、児童生徒一人一人のキャリア発達を的確に捉える「育てたいカー一覧表」をツールとした教育実践のPDCA化、PATHの手法を用いた諸会議の活性化、教員一人一人が教育実践に明確な説明責任を負う一人一事例方式による教員研修の活性化などの実績は県内外より高い評価を頂き、平成25年度文部科学大臣キャリア教育優良校表彰受賞の光栄に浴することができました。

このような取り組みのもと高等部では、キャリア教育のPDCAサイクルに企業等の視点を取り入れるべく、地元企業株式会社LIXIL有明工場との連携・協働を模索し着実に形になりつつあります。

2 就労の場から学習・協働の場、そして互いに意味のある関係へ

株式会社LIXIL有明工場との関係は、平成25年度に高等部生徒の就業体験(現場実習)受け入れからスタートし、本校卒業生の雇用が実現しました。このことをきっかけとして会社側から様々なご提案をいただくようになり、今年度は工場内を飾るプランタの季節毎の管理や、工場内施設の花壇整備を行っており、本校生徒にとって重要な学習の場となっております。この花壇整備は企業の新規採用職員の皆様との共同作業として実施されたもので、職員研修の一環として企業のニーズを織り込んでいただいていることは特筆に値します。

また、企業からの本校訪問研修も実施され、障がいに関する基礎理解の場としてご活用頂きました。現在雇用されている本校卒業生の雇用管理と定着支援に資するものと確信しています。



「LIXILの社員研修とのコラボレーション」



「LIXILからの本校訪問研修」

3 おわりに

学習指導要領ではキャリア教育推進のための配慮事項として、地域や産業界の人々との協力を挙げています。本校もこの重要性に鑑み、地元企業との連携を深め、企業等の視点に基づく教育課程の改善に努めて参ります。ここで重要なポイントとなるのは、互いに意味のある内容を計画的組織的に積み上げることであることを踏まえ、積極的に企業のニーズに応え、将来的に持続発展的な連携協働関係を構築していきたいと考えています。